



第35回紫式部文学賞・紫式部市民文化賞

紫式部文学賞

贈呈式・受賞者講演会

令和7年 **11月22日(土)**

宇治市文化会館 小ホール
(募集人数 380人)

無料



第35回紫式部文学賞 受賞者

水村 美苗さん

ープログラムー

第1部 贈呈式 13:30~14:30

第2部 受賞者講演会 15:00~16:00

演題「日本語の幸せと女手^{おんなて}」

紫式部文学賞受賞者水村美苗さんによる講演会です。受賞作品のお話などが聞ける
またとない機会です。ぜひ、ご参加ください。



受賞作品

紫式部文学賞 『大使とその妻』

水村 美苗さん

紫式部市民文化賞 『回想のアーミデールーある昆虫研究者の異文化体験』 松良 俊明さん

奨励賞 『私の投稿50年』

水上 壽恵さん

ユース賞 『依頼料理屋四島』

山本 結月さん

『令和6年度 思い出川柳』

京都府立宇治支援学校
高等部くらし健康コース

紫式部文学賞選考委員

川上 弘美：作家
鈴木 貞美：文芸評論家・国際日本文化研究センター名誉教授
竹田 青嗣：早稲田大学名誉教授・大学院大学至善館教授・哲学者・文芸評論家
平田 俊子：詩人
村田 喜代子：作家

紫式部市民文化賞選考委員

植山 俊宏：京都教育大学特定教授
鶴飼 正樹：京都文教大学教授
木股 知史：甲南大学名誉教授
塩見 啓子：歌人
坪内 稔典：俳人
中川 成美：立命館大学名誉教授
藤井 直：元京都府立高等学校長

※五十音順

参加者を募集します

申込期間 10月28日(火) 必着(予定)

申込方法はウラ面に記載しています



贈呈式や講演会を
より楽しむために

受賞作品を会場で販売します！



『大使とその妻』

販売価格 各2,000円（税別）

あらすじ

2020年、翻訳者のケヴィンは軽井沢の小さな山荘から、人けのない隣家を見やっていた。親しい隣人だった元外交官夫妻は、前年から姿を消したままだった。能を舞い、嫺やかに着物を着こなす夫人・貴子。ケヴィンはその数奇な半生を、日本語で書き残そうと決意する。失われた「日本」への切ない思慕が溢れる新作長篇。 ※新潮社公式HPより

水村 美苗さん プロフィール

東京生まれ。12歳で渡米。イエール大学仏文科卒業、同大学院博士課程を修了。いったん帰国ののち、プリンストン、ミシガン、スタンフォード大学で日本近代文学を教える。1990年『續明暗』で芸術選奨新人賞を、1995年『私小説from left to right』で野間文芸新人賞を、2002年『本格小説』で読売文学賞を、2008年『日本語が亡びるとき——英語の世紀の中で』で小林秀雄賞を、2012年『母の遺産 新聞小説』で大佛次郎賞を受賞。 ※新潮社公式HPより



『第35回紫式部市民文化賞受賞作品集』

販売価格 未定

紫式部市民文化賞・奨励賞・ユース賞の全4作品と作者の受賞の言葉、選考委員の作品紹介と講評を収録。
この1冊で市民文化賞をすべて楽しめます。

申込方法 詳細

下記事項をご記入の上、郵送・Eメールでお申し込みください。

- ① 「贈呈式入場希望」 ② 郵便番号・住所
③ 氏名(ふりがな) ④ 電話番号

参加費 無料

申込期間 10月7日(火)～10月28日(火)必着 (予定)

申込結果は11月10日頃発送予定です。(応募者多数の場合は抽選)

※受賞者講演会の様子を録画し、後日、市のYouTubeチャンネルにて配信予定です。
撮影の際は、受講者の皆さまへの配慮は致しますが、お席によってはお姿が映る可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

申込・問い合わせ先

住 所 〒611-8501 宇治市宇治琵琶33 宇治市役所 文化スポーツ課
電 話 0774-20-8724
Eメール bunkasportska@city.uji.kyoto.jp

